

00	09	03	002	永年保存	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長 副議長 事務局長 次長 主査 主査 担当											文書取扱主任			

第26回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日	平成22年7月16日(金曜日)	開会：10時00分	閉会：10時30分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	井上、山木、渡辺、酒井、山口、関藤、荒木、堀、議長	事務局	中嶋事務局長
欠席委員	田村		田湯次長
説明員	別紙のとおり		寺嶋主査
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 調査事項について		
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 医療機器、什器・備品の入札項目について		
	2 その他について		
	なし。		
	3 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 市立病院建替計画等調査特別委員長 井上正雄 ㊞			

平成22年7月14日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成22年7月8日付け滝議第70号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市立病院事務部長	東 照 明
市立病院事務部次長	鈴 木 靖 夫
市立病院事務部改築推進室主任主事	佐 藤 智 人

(総務部総務課総務グループ)

第26回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H22. 7. 16(金) 10:00
第一委員会室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

(1) 医療機器、什器・備品の入札項目について

(資料)

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

第26回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H22. 7. 16 (金) 10:00

第一委員会室

開 会 10:00

委員動静報告

委員 長 田村委員欠席。議長出席。6月3日に本間議員が辞職したことに伴い、今回から関藤議員が新しく委員となる。

1 調査事項について

委員 長 (1) について説明願う。

(1) 医療機器、什器・備品の入札項目について

鈴木部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。

渡 辺 ① 入札の項目の案についてだが、現在の市立病院にはなく今回新調する設備、医療機器等について、次回でいいので項目をつくって丸印などを付けた一覧表にさせていただきたいがいかがか。

② 医療機器で中古で売れるものはあるのか。あるなら次回でいいので一覧表をお願いしたいがいかがか。

③ 他の医療機関に譲ることもできない完全に廃棄しなければいけない医療機器の一覧表をお願いしたいがいかがか。

④ 入札結果を予算との比較で表にさせていただきたいがいかがか。

委員 長 今答えられるものについては答えていただき、それ以外については委員に諮って必要であれば資料要求したいと思う。答弁願う。

鈴木部次長 ③ 医療機器の廃棄ということでは、更新するものについては、買う条件の中に廃棄することを条件として仕様書に設けることになるので、購入を前提としたものであれば、病院自体で廃棄するという事は起きない。全体の中で廃棄されるものは医療機器に限らずかなりの量があるので、今の時点ですぐに出すことはできない。最後にこういうものが廃棄されるということで整理して出したい。

② 更新ということであれば、廃棄もしくは下取りという条件を付すので、売るとは基本的に考えていない。法的な制限が厳しいので、こちらで売って売った先で何かが起こることも含めて、きちんとした手続をしないと簡単には売れないということを調査して認識している。売るといことがあれば、最後にまとめて報告させていただきたい。

④ 入札結果についてもすべて終わってから最後にまとめて報告させていただきたい。

① 科が大きくふえたりすることはないので、今ある医療機器の移転、移設という条件を考えると、移設費用がかかり過ぎるとか、耐用年数が過ぎているということで更新になるものが大半である。あえて言うなら外来待合表示システムといったものは新規で購入することになる。

委員 長 今の答弁は、入札が終わってから報告できるものはするという事で、廃棄なども購入との関連で予算計上しているという考えとのことだが、新規に導入するものについては説明できるのではないか。

鈴木部次長 医療機器として新規でというものは特にはない。先ほども言ったが、外来待合表示システムが新たに購入するものである。それ以外に医療機器としてふえるも

- のではない。
- 東部長 補足させていただく。当初から医療機器で使えるものは持っていくというスタンスである。ただし、更新期間が過ぎている、あるいは移設費用がかかり購入したほうが有利というものを更新するのが基本の考えである。ただ細かい医療機器によっては台数がふえるといったものはあるが、完全に今までなかったものとしては待合表示システムが新規ということである。廃棄等についてもなるべくお金をかけたくないことで、個々の部分で引き取られたりいろいろなことが出てくることで今の時点では予測できないので、最終的な部分で報告させていただきたい。実際に廃棄したものをすべて一覧にして出せるかとなると、細かいものもあるので大きなものに限定して報告させていただくことで進めさせていただきたい。
- 委員長 他に質疑はあるか。
- 堀 ① 入札項目の分け方について、1点の購入単価が高額なものとのことだが、医療機器と什器・備品の高額の基準額を説明願う。
② 入札における滝川市内の業者に関する優位性はあるのか伺う。
- 鈴木部次長 ① 医療機器はおおむね5,000万円以上、備品関係は1,000万円以上ということで整理させていただいている。
② 什器・備品については、市内業者ということで登録させていただいているので、市内業者での入札が行われるということである。
- 委員長 他に質疑はあるか。
- 酒井 ① 入札参加資格について、メーカーと卸ということで混在している。消火器はすべてメーカーでないところ、厨房機器はほとんどがメーカー、医療機器はほとんどが卸ということで、その辺の分け方について伺う。滝川市内業者の優位性という話があったが、厨房機器はほとんどがメーカーになっていることでこの辺も含めて説明願う。
② 今回現病院から新病院に持っていくもので、大きなものについて改めて示していただきたい。
- 鈴木部次長 ① 今回、医療機器、什器・備品が病院で入札ということに伴い、改めて市に登録がないことで登録をしていただく告示をさせていただいた。その条件は前回の委員会で説明したとおりで、その条件に基づいて申請をいただいた業者なので、特に代理店であるとかメーカーが直接であるとかといった部分に関しては、私どもがどうこう言える立場ではないと判断している。市内業者に限っては、市内業者に登録していただけるというPRも含めて行った結果、このような登録になっている。厨房機器に関しては既に市で登録があることで、それらの業者で十分競争性を発揮できるということもあり、今回は改めて登録の申請をしていない。
② 大きなものとしては、例えば放射線機器、CTなどは持っていく。小さいものであれば、事務関係の机や保管庫といったものはすべて持っていくということでやっているのですが、事務関係については9割方持っていくことで考えてもいいのかと思っているが、全体的な比率は申し上げられない。先ほど部長が申し上げた基本姿勢で整理しているところである。
- 酒井 CTは幾つ持っていく、幾つは廃棄予定であるといったことを示した上で、今回MRI、RIなどを購入するということがわかれば、全体として非常に見やすい。今までの答弁では、外来待合表示システムを新たに導入するということがあったが、持っていくものは持っていくという考えを全体として見える形にし

- てほしい。これらを資料として次回以降に示すことができるのか伺う。
- 東部長 なるべくお金をかけないことが一つの原則という意味では、ドクターを含めて現場と交渉しながら協力をいただいているところである。ただ、耐用年数が相当過ぎて更新時期を迎えているとか、あるいは移設に費用がかかって移設しても数年で更新しなければならないことでトータル的に見ると逆に高くなるものは更新するということが優先順位をつけてやっている。今回明らかに持っていくもので大きいものはCTで、人工透析の装置も使えるものは持っていか、レントゲン関係についてはかなり年数が経っているので、ほとんど更新しなければならないし、大きなものでR IやMR I、一般撮影装置というものは基本的に更新となる。そのほかについてはかなり細かい部分なので、それぞれの部分でやっていくことになる。給食の厨房関係については、システムが全く変わってしまうので基本的にはほとんどが新規となる。どの部分が更新で購入になったのかについては、先ほど渡辺委員にも答弁したが、最終的にこういう形になったということで報告させていただければと思っている。
- 酒井 大きなもので例えばMR Iや放射線装置は、耐用年数が何年過ぎてしまったので購入予定であるとか、移設することで結局は損になるので購入するとかという形で見える形にしてほしい。今の答弁だと、すべてが終わった後に結果としてこうなると報告するということがあったが、今実際にどうなっているかについて、大きなものについてだけでも知りたいのだが資料要求が可能なのか伺う。
- 東部長 購入金額もある程度大きなものに限定させていただかなければならないし、更新の理由もどの辺まで必要かということもあるので、ここで即答はできない。資料をつくるとなると結構手間がかかり若干時間も必要なので、今後の進め方については、正副委員長と協議をして進めさせていただきたい。
- 委員長 正副委員長に相談の上、進めることでよいか。（よし）そのように決定する。他に質疑はあるか。（なし）（1）については報告済みとする。
- 委員長 **2 その他について**
委員から何かあるか。（なし）事務局から何かあるか。（なし）
- 委員長 **3 次回委員会の日程について**
正副委員長に一任いただくことでよいか。（よし）以上をもって第26回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 10:30